

庚寅の年

七五三のお参りの時に、「ちなみに三歳と五歳はどっちがメインですか」と若い奥様に聞かれた。子供を授かり、よちよち歩きから一人遊びが出来るようになった三歳、幼稚園に入るようになった五歳、そして小学校に入るうかという七歳の頃に、神に感謝し今後ともご守護下さいとお願いするのが七五三詣である。感謝の気持ちが深くなれば、自ずから神社にお参りするものなのである。

今年の干支は庚寅である。「庚」は継ぐ、償うという意味がある。「寅」は手を合わせる象形文字で謹む、また演も同じで進展の意味がある。

前年、新しい時代へ向けて活動が始まった。良いも悪いも今年はそれを受けて継続していくことになるが、うまく過去を清算することができれば困難を乗り越えることができる。と干支は示唆する。ただし、祖先や神のお蔭に畏れ謹む気持ちを忘れてはならないと教えてく

れている。

史実では前回の庚寅は昭和五年で不況は止まず、ふたまたわり前の庚寅も明治二十三年に鉄道株のバブルが崩壊した。しかし数年を待たずして世界史上の奇跡とまでいわれるように高度成長したのは、日本人の創意工夫によるものなのである。

「成功は常に苦心の日にあり、敗事は多く得意の時による」という格言は誠に実践的である。

謹賀新年

五日市八幡神社

前後に前厄と後厄あり

厄年表(数え年)生年	
男	25 才昭和61年
	42 才昭和44年
	61 才昭和25年
女	19 才平成4年
	33 才昭和53年
	37 才昭和49年